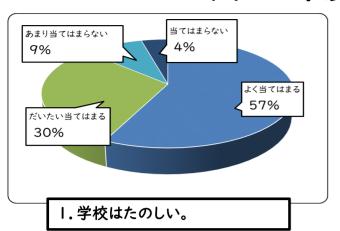
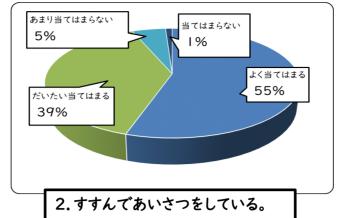
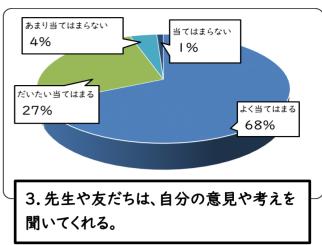
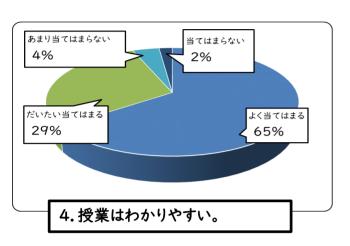
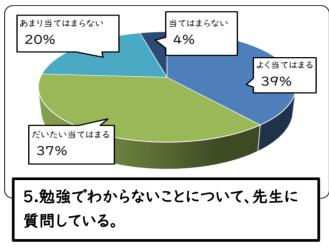
令和6年度 学校診断 児童アンケート結果

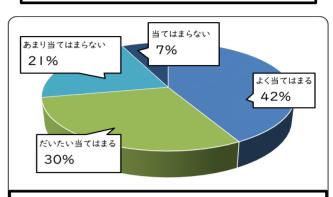


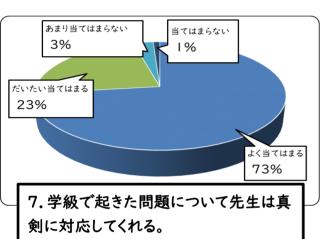


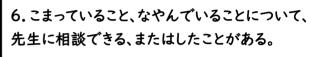


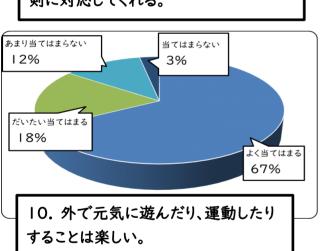


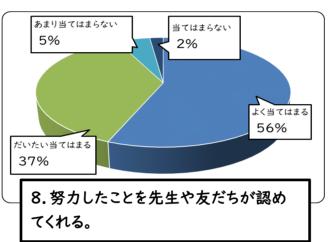


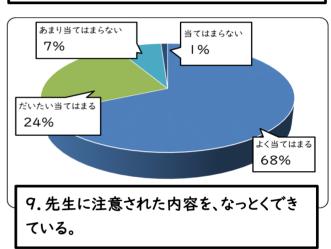


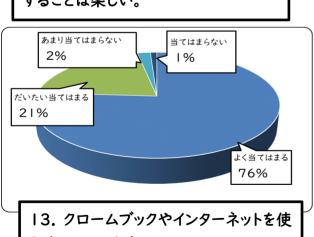


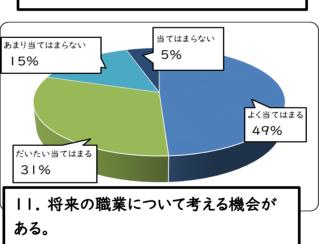


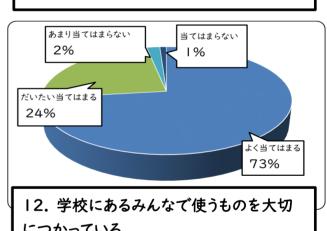


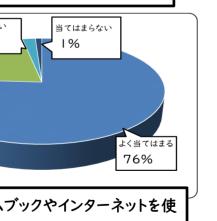


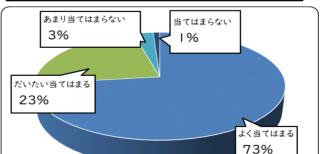






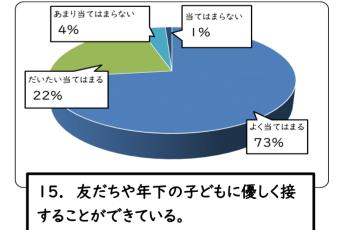






につかっている。

14. クロームブックを扱うのが上手に う時、ルールを守っている。 なったと感じている。



【結果を受けて】

- ●設問2において、「すすんであいさつをしている」と多くの児童が自覚しています。その習慣を これからも持ち続けてほしいと願っています。
- ●設問3は、昨年度から取り組んでいる「対話的な授業づくり」の成果の一端を見ることがねらい でしたが、肯定的な割合がさらに増え、今の実践を続けていく後押しとなりました。
- ●設問5,6では、ネガティブな回答の割合が3割近くになっています。「話を聞いてほしいな」 というサインを出しやすいよう、クロームブックの「こころの天気」を活用しており、昨年に比べ ると少し改善しましたが、引き続き児童に寄り添い、丁寧に対応してきたいと思います。学習に関 する質問も、児童が発しやすい雰囲気づくりを心がけます。
- ●設問ⅠⅠの回答状況から、自分の将来(職業)について考える機会が十分に持てていないことが 分かります。2年生の生活科で地域の方々や保護者の方にご協力いただき、早い段階から職業に対 して関心を抱かせる学習を実践していますが、他学年においても折々にキャリア教育を取り組んで いきます。

